

日本工業大学 スクウェア・エニックス講演会を開催 「ファイナルファンタジーXIV」 ディザートレイラー制作の舞台裏を紹介



講演会の様子

このディザートレイラーを魅力的に表現している。また人物は、リッチな映像でゲームを特徴とする。キャラクターはゲームと同じ印象を維持しながら、目や口は実際の人物を参考に、背景は、豊かなアセットを考へながら作り込むことで、映像に説得力をもたせ、映像の中でキャラクターが食べる肉は、リアルな質感を表現している。また人物の肌や衣装は日焼けや経年劣化といった表現を取り入れ、長い船旅というストーリーを感じさせる。水、炎などのエフェクトはリアリティの観察と分析、CGでの再構築を促している。「物語をよく観察し、教員は「映像を制作した」と話していた。

日本工業大学(埼玉県南埼玉郡)は6月2日、スクウェア・エニックスのクリエイター陣を講師に迎えた特別講演会を、オープンキャンパスにおけるイベントの一環として同校・埼玉キャンパスで開催した。講演会は、7月2日に発売されるRPG『ファイナルファンタジーXIV』の拡張パック『ジ・黄金のレガシー』ディザートレイラー(宣伝用予告映像)制作がテーマ。同校イメーシ・スタジオディレクションおよび、宮尾周司氏(リードディレクター)兼リードプロデューサー(アーティスト)、西中寛氏(リードエンジニア)、キャラクターモデリングアーティスト、西中寛氏(リードエンジニア)、ディザートレイラー、八尋裕司氏(リードエフェクティブアーティスト)の4人が登壇し、制作工程について説明した。



(左から) 池上氏、宮尾氏、西中氏、八尋氏

オで実際の「1人をつかむ」といった炎を撮影し、日々大切にしていることとを挙げた。◆300人の教室が満席に。同校は情報技術や機械、建築などを実践的に学べる工学系の総合大学。第1線まで活躍するクリエイティブな人材の育成を目標としている。

当日は、最新映像の制作について解説を聞けるということで、300人を収容できる講義室が、受験生はもちろん映像制作に関心のある在校生などではほぼ満席となった。

ディザートレイラーを追求したリッチな映像



杉森氏

講演を企画した情報学ディザートレイラー制作の杉森氏(左)は、「映像を制作した」と話していた。

アストロデザイン プライベートショーを開催 最新製品を幅広く展示



ライブ対応3D LUTカラープロセッサの展示



8K切り出し装置のデモ



リアルタイムでモザイクをかけられる

な力信号のスイッチング、変換、合成や切り出しができるのでスタジオでの演出に使いやすい。小型3D LUTカラープロセッサユニットは色管理ソフト「ワンダールックプロ」と合わせ、バーチャルプロダクションでのライブグレイディングに活用できる。放送局向けにはDSK扱する製品を紹介。映像やマルチビュー、切り出し装置「IP41ディオモニタ」や、0.42や、8Kカメラ制作環境の構築を支援する韓国KBSのAI顔認識切り出しソフトを使用。監視用途に使える8K×8Kマルチフォーマットカメラ「AB-4000」や「AC-4000」や、個人情報を保護するためのAIリアルタイムモザイクアップリケーション。高画質超遅延伝送を実現するJPEG XS IPコダを展示。広域域・高ダイナミックレンジ・高SNRのマルチユースカメラも実演した。

スタッフ募集

- TV-CMオンライン送稿サポートスタッフ
 - 編集システム管理スタッフ
- 経験者優遇!

問合せ先
東京都目黒区下目黒2-24-12
(株) イメージスタジオ・イチマルキュー
03-3491-1090
採用担当 石坂/酒井
2025saiyou@imagestudio109.co.jp

